


プロフィール

さくひん 作品の名称	いろえ じんぶつもん さら 色絵モールド 人物文 皿	うらがわ 裏側についているマーク
ねんだい 作られた年代	1911年～1921年(今から100～110年くらい前)	
ぼしよ 作られた場所	日本	
ぼしよ 売っていた場所	アメリカ	

この人のポーズ、どこかで見たことはありませんか。あなたの本だなにもいるかもしれません。



ここで
Question!
クエスチョン

じんぶつ
q.1 人物や木をよく見てみよう。どうなっているかな?

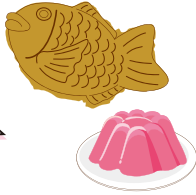
q.2 この人は何をしているのだろう?

このお皿にかくされたなぞは? うらをみてみよう▶

A.1 半分、立体的になっている

じんぶつ ぼ かた どうじき
人物や木が彫りこまれた型に、陶磁器の
ざいりょう なが
材料を流し入れて形が作られました。
ぎほう
この技法を「モールド」といいます。

たいやきやゼリーを
作る時にも型を
使うね。これと同じ
イメージだよ。



A.2 種をまいている

に ゆうめい
この人に似ている、有名な絵があります。
いわなみ
若波書店のマークのもとにもなった絵です。



フランスの画家・ミレーがかいた「種をまく人」のポーズにそっくりです。



こんな
ポーズ

ミレーの絵はアメリカでとても人気があったため、ミレーの作品を参考にした
さんこう
製品を多く作っていました。一方で、このお皿にえがかれている人は
「ジョニー・アップルシード（リンゴの種）」といわれています。
かれは 200 年くらい前、アメリカの中西部にリンゴの種を植えてまわった
という人物で、いろいろな伝説が残っています。いつごろからミレーの絵と、
ジョニー・アップルシードのイメージが重なったのかはわかりませんが、
どちらもアメリカ人にとって身近に感じられる存在でした。

「ちょっと耳よりエピソード⑩」/ デザインの参考に使っていたもの

4階の展示室には、今回しょうかいしたお皿のように、
人気のあったポストカードや、話題の絵画をお手本にして
作られた陶磁器があります。1900年代の初めには売れっ子の
画家になっていた、クロード・モネの絵に似たふんいきのものもあるので、
ぜひ探してみてください。

モネはロンドンの川の
風景を多くえがきました。
ノリタケミュージアムには
この2つの橋を組み合わせた
絵があるんですよ。



「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。